

内分泌学的検査

内分泌学的検査

性腺

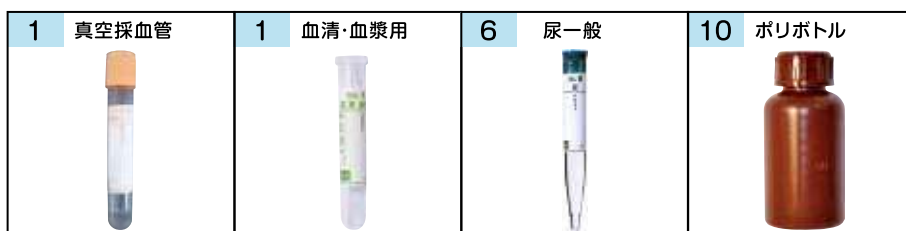
コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3839	HCG定性 4F080-0000-001-062	尿 5	6	冷蔵	1~2	55 生化II	LA	(-)		【高値】妊娠・絨毛性疾患 胎状奇胎 異所性HCG産生腫瘍 【低値】流産 子宮外妊娠・胎児死亡
5012	HCG 4F080-0000-023-053 4F080-0000-001-053	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	134* 生化II	ECLIA	53ページを参照ください。 ※ビオチンの干渉(下段参照)		
5033		随時尿 5	6		1~3	134* 生化II				
9167	HCG-β 4F090-0000-023-006 4F090-0000-001-006	血清 0.5	1	冷蔵	3~6	132* 生化II	IRMA	0.10以下 ng/mL		【高値】胎状奇胎・絨毛癌 睾丸腫瘍 HCG産生腫瘍
9380		随時尿 1	6	凍結	3~6	132* 生化II		0.1以下 ng/mL		
5634	プロゲステロン 4F045-0000-023-051	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	147* 生化II	CLIA	卵胞期 1.2以下 排卵期 0.3~10.4 黄体期 1.4~20.6 男 0.9以下 ng/mL		【高値】月経期(高週期)・妊娠 副腎過形成・クッシング症候群 多嚢胞性卵巣症候群 副腎性器症候群 【低値】黄体機能不全・排卵障害 胎盤機能不全・卵巣機能低下症 Addison病・副腎癌
5635	テストステロン 4F065-0000-023-053	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	122* 生化II	ECLIA	男 131~871 女 11~47 ng/dL	※ビオチンの干渉 (下段参照)	【高値】多嚢胞性卵巣症候群 多毛症・男性化卵巣腫瘍 副腎過形成・ライディヒ細胞腫瘍 【低値】性腺機能低下症
5056	遊離テストステロン 4F070-0000-023-005	血清 0.3	1	凍結	3~6	159* 生化II	RIA (チューブ固相法)	53ページを 参照ください。	午前中に採血してください	男性ホルモン産生腫瘍 精巣機能不全・原発性性腺不全 無精子症・プロラクチノーマ
5633	エストラジオール(E ₂) 4F025-0000-023-051	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	172* 生化II	CLIA	卵胞期 19.5~144.2 排卵期 63.9~356.7 黄体期 55.8~214.2 閉経後 32.2以下 男 39.8以下 pg/mL		(女性) 【高値】エストロゲン産生腫瘍 卵巣過剰刺激症候群・妊娠 副腎皮質過形成 【低値】卵巣機能低下 胎盤機能不全・卵巣機能不全 低ゴナドトロピン血症・閉経 (男性) 【高値】副腎皮質過形成・肝疾患
9446	プレグナンジオール 4F055-0000-004-203	24時間 蓄尿 12	10	冷蔵	7~9	213* 生化II	GC/MS	53ページを 参照ください。		【高値】本態性高血圧症・妊娠 副腎性器症候群・クッシング症候群 【低値】黄体機能不全・無排卵 アジソン病・汎下垂体機能低下症
9448	プレグナントリオール 4F060-0000-004-203	24時間 蓄尿 12	10	冷蔵	7~9	232* 生化II	GC/MS	男 0.13~1.60 女 卵胞期 0.13~1.30 分泌期 0.13~1.90 閉経後 0.02~0.83 mg/day		【高値】副腎男性化腫瘍 汎下垂体機能低下症・クッシング症候群 21αおよび11β-hydroxylase欠損症 【低値】先天性副腎過形成 (17α-hydroxylase欠損症など)
2762	抗ミューラー管ホルモン (AMH) 4F100-0000-023-052	血清 0.5	1	冷蔵	3~4	600* 生化II	CLEIA	53ページを 参照ください。 ng/mL	※ビオチンの干渉(下段参照) 単位換算 1pM=0.14ng/mL	【高値】多嚢胞性卵巣症候群 【低値】閉経後

※ビオチンの干渉：5mg/日以上ビオチンを投与している場合、測定結果が偽高値または偽低値になる可能性がありますので、採血は投与後、少なくとも8時間以上経過してから行ってください。

* 内分泌学的検査の包括 1回に採取した血液を用いて3項目以上の検査を行った場合
3~5項目：410点 6・7項目：623点 8項目以上：900点

※ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット(HCGβ)は、HCG産生腫瘍患者に対して測定した場合のみ算定できる。ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット(HCGβ)、ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定性、ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量又は同半定量を併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。

※抗ミューラー管ホルモン(AMH)は、不妊症の患者に対して、調節卵巣刺激療法における治療方針の決定を目的として、血清又は血漿を検体として測定した場合に、6月に1回に限り算定できる。



内分泌学的検査

性腺

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3846	癌胎児性フィロネクチン (頸管腫分泌液) 5C111-0000-067-023	頸管腫分泌液	6.5 (専用容器)	凍結	3~5	204 免疫	ELISA	(-)	151ページ 採取方法参照	【高値】切迫流産・早産
9617	顆粒球エラストラーゼ (子宮頸管粘液) 3B200-0000-058-062	頸管粘液	6.4 (専用容器)	凍結	3~5	119 尿・便	ラテックス 凝集免疫法	1.60以下 μg/mL	151ページ 採取方法参照	【高値】絨毛羊膜炎による切迫早産 子宮頸管炎・前期破水

※癌胎児性フィロネクチン定性(頸管腫分泌液)は、破水の診断のために妊娠満22週以上満37週未満の者を対象として測定した場合又は切迫早産の診断のために、妊娠満22週以上満33週未満の者を対象として測定した場合のみ算定する。
 ※顆粒球エラストラーゼ(子宮頸管粘液)、絨毛羊膜炎の診断のために妊娠満22週以上満37週未満の妊婦で切迫早産の疑いがある者に対して行った場合に算定する。

HCG(血中)基準値

妊娠週数	(mIU/mL)
1週	0~ 30
2週	20~ 500
3週	500~ 5,000
4週	3,000~ 19,000
2ヶ月	14,000~ 169,000
3ヶ月	16,000~ 160,000
6ヶ月	2,500~ 82,000
9ヶ月	2,400~ 50,000
男・非妊婦	3以下

HCG(尿中)基準値

妊娠週数	(mIU/mL)
6週	15,000~ 30,000
10週	90,000~ 120,000
20週	20,000~ 35,000
40週	1,000~ 25,000
男・非妊婦	3以下

注)HCG(血中)基準値の妊娠週数表記について

- ・妊娠週数は推定排卵日計算の週数です。
- ・最終月経(開始日)超算の妊娠週数では2週が加算されます。

例)1週→3週、2ヶ月→10週

遊離テストステロン年齢別基準値(pg/mL)

年齢(歳)	男性	女性
20~29	7.6~23.8	0.4~2.3
30~39	6.5~17.7	0.6~2.5
40~49	4.7~21.6	0.3~1.8
50~59	4.6~19.6	0.8~1.7
60~69	5.3~11.5	
70以上	4.6~16.9	

基準値設定の参考文献:岩田晃明,他日本泌尿器科学会誌,95(6):751~760,2004.

AMH/ECLIA 基準値(単位:ng/mL)

性別	年齢	基準値
男性		0.77~14.50
女性	20~24歳	2.00~12.50
	25~29歳	1.95~10.70
	30~32歳	0.64~14.20
	33~35歳	0.89~ 8.31
	36~38歳	0.40~ 6.92
	39~41歳	0.11~ 7.26
	42~44歳	0.07~ 4.13
	45~49歳	1.52以下

血中E₂の基準値

性別	時期	基準値 (pg/mL)
女性	卵胞期	19.5~144.2
	排卵期	63.9~356.7
	黄体期	55.8~214.2
	閉経後	32.2以下
	妊娠	
妊娠	前期 1~16週	135.0~ 3916.0
	中期 17~28週	1710.0~15690.0
	後期 29~40週	3720.0~29280.0
男性		39.8以下

プレグナンジオール基準値

性別	時期	基準値 (単位:mg/day)
男		0.16~0.79
女	卵胞期	0.28~ 1.42
	黄体期	0.79~ 6.83
妊娠	前期	1.29~ 6.08
	中期	3.05~24.22
	後期	9.10~60.51

(単位:mg/day)